

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	離散数学第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Discrete Mathematics I		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	垂井 淳		
居室	総合研究棟824		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@ice.uec.ac.jp	<a href="http://www.jtlab.ice.uec.ac.jp">http://www.jtlab.ice.uec.ac.jp</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
「離散数学第一」の講義内容をより深く理解し、その知識を種々の問題に応用できるようにすることを目標とする。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
教科書： リプシュッツ著 成嶋弘監訳「離散数学 -- コンピュータ・サイエンスのための基礎数学 --」マグロウヒル演習シリーズ，マグロウヒル社．
参考書： 尾関和彦著「離散系数学入門」共立出版 守屋悦朗著「コンピュータサイエンスのための離散数学」サイエンス社．

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

#### (a) 授業内容

内容は「離散数学第一」と同じであるので、そのシラバスを参照すること。

#### (b) 授業の進め方

履修者が自分で演習問題を解き、レポートを提出する。

#### (c) 予習・復習

演習と合わせて、2週間に1度以上の頻度で宿題を出す。解けなかったときは、理解不十分だったところを特に意識して復習しておいてほしい。

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

演習時間の問題や宿題の問題で、自分が間違えたものについては、ぜひ確実に復習してほしい。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a) 評価方法

成績評価は、レポートの評点、出席状況、「離散数学第一」の成績等に基づいて行う。

#### (b) 評価基準

「集合と写像」、「論理」、「数学的帰納法」、「同値関係」、「順序関係」などの基本概念を理解していることをもって合格基準とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

最初の授業と上記 web ページで告知予定

### 【学生へのメッセージ】

「離散数学第一」の講義を理解し、それを自分のものとして応用できるようになるためには、できるだけ多くの演習問題を解くことが望ましい。また、それにより数学に対する興味も深まる。演習の時間を十分に活用し、基礎力の向上につとめて欲しい。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
なし